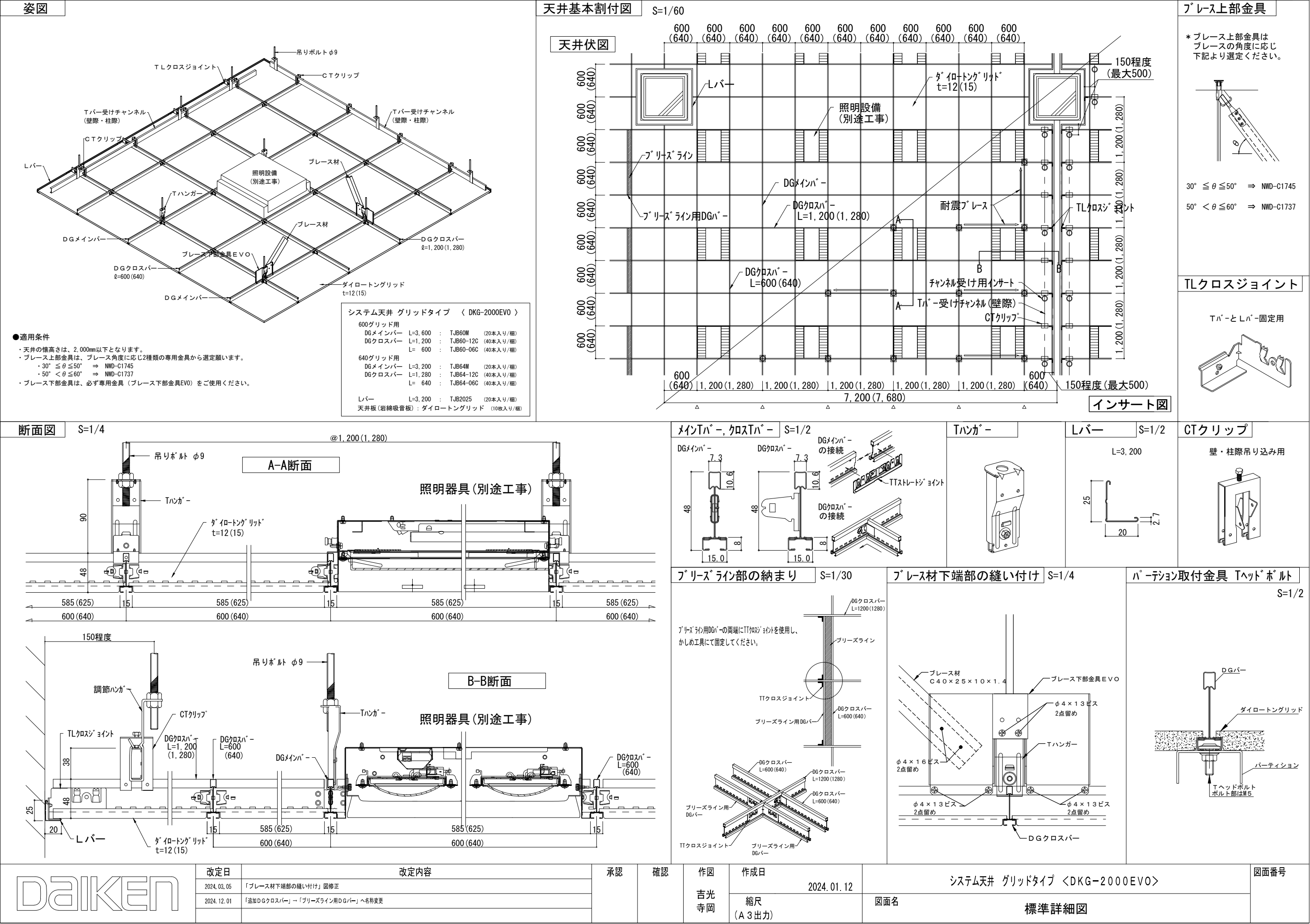
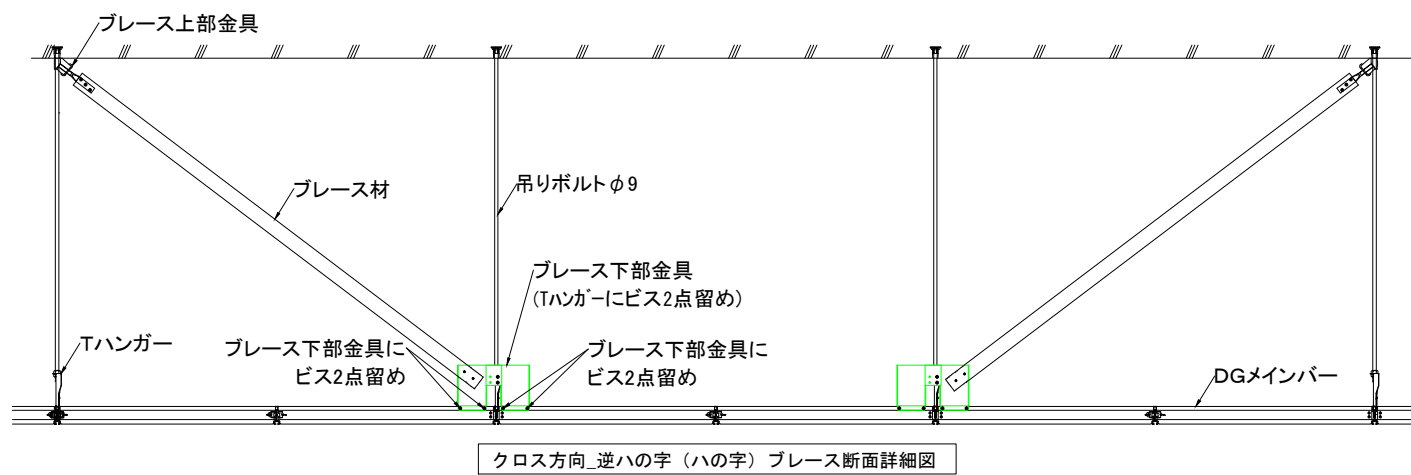
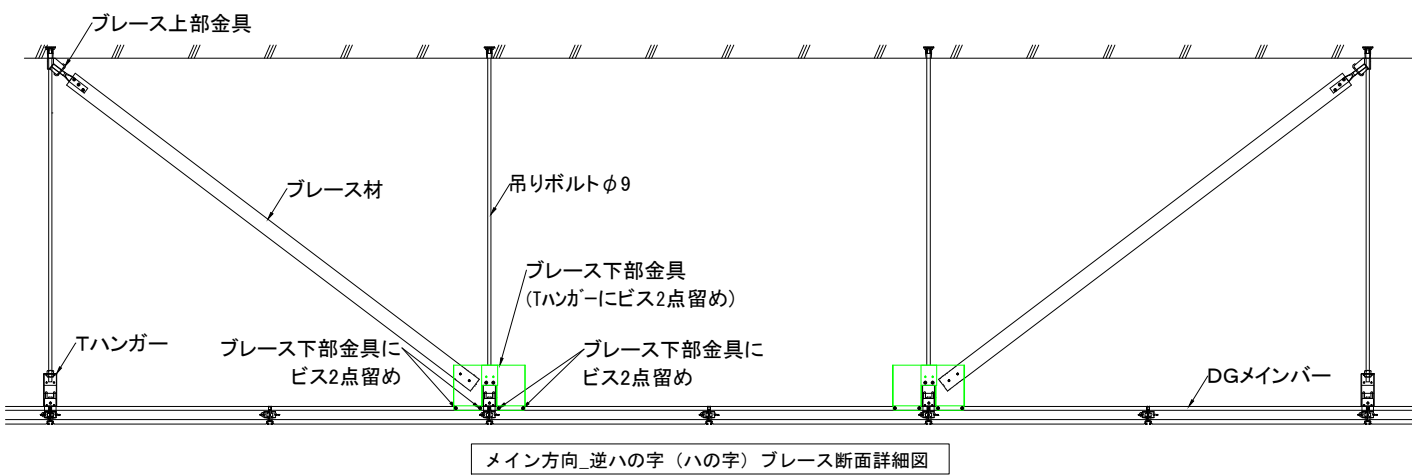
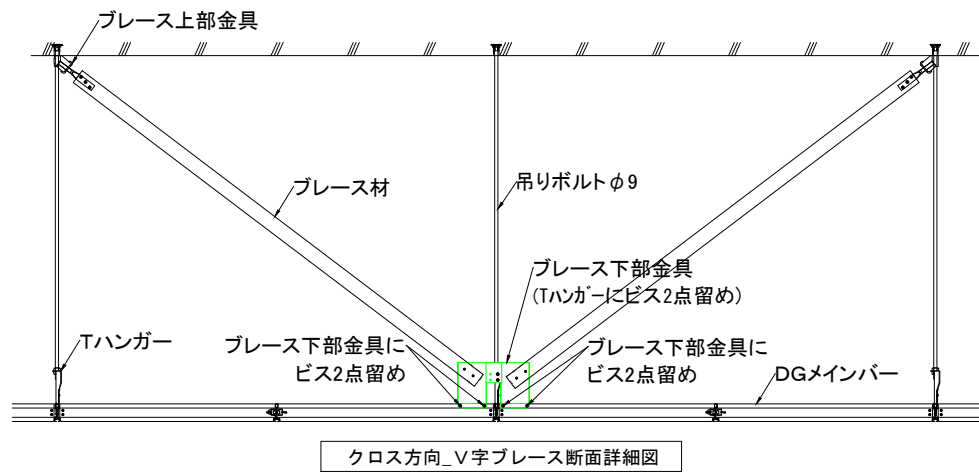
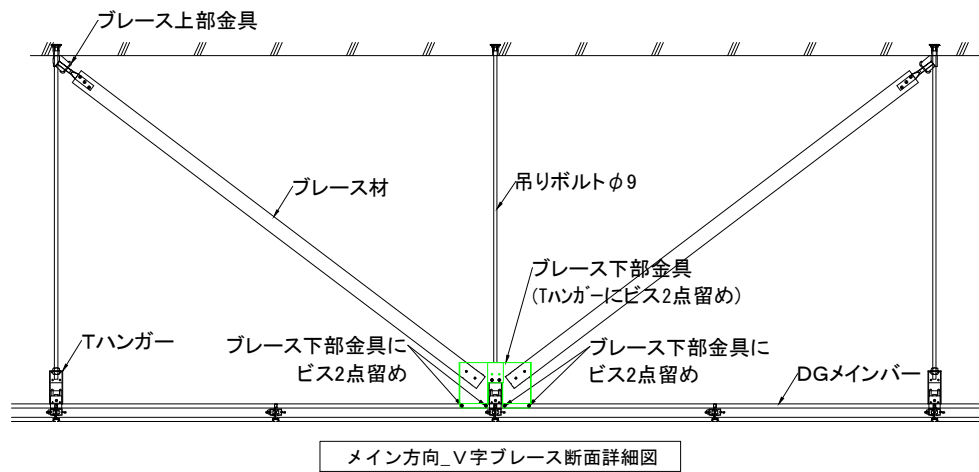




ブレース断面詳細図



DAIKEN

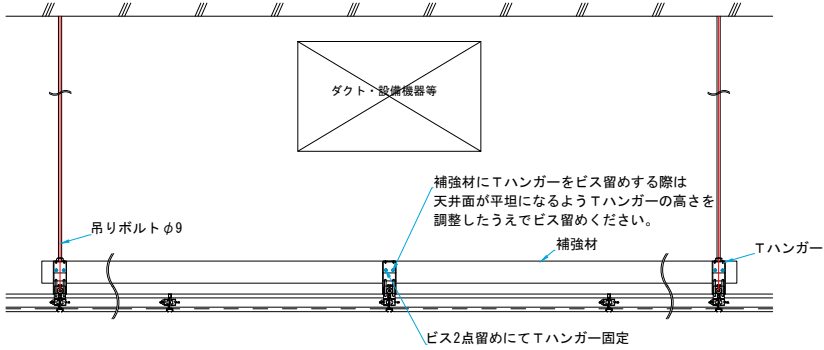
改定日	改定内容

承認	確認

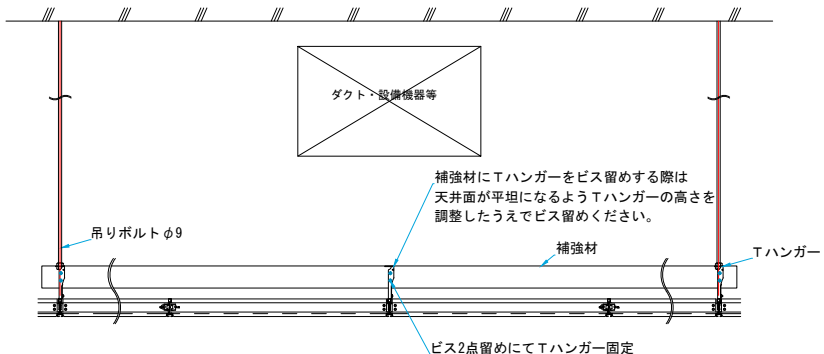
作図	作成日
吉光	2024. 01. 12
縮尺 (A 3 出力)	1:20

システム天井 グリッドタイプ <DKG-2000EVO>	図面番号
図面名	各部詳細図_1

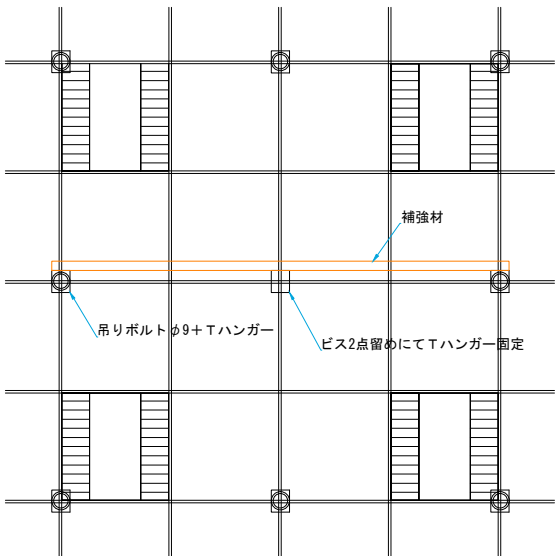
間接吊り補強詳細図



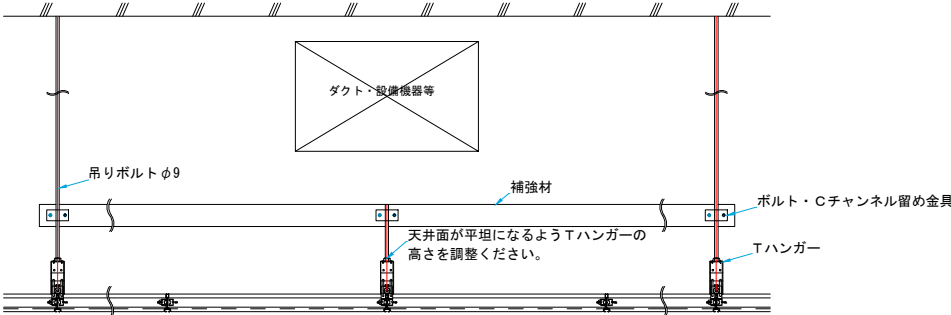
メインTバー方向断面図 (1:20)



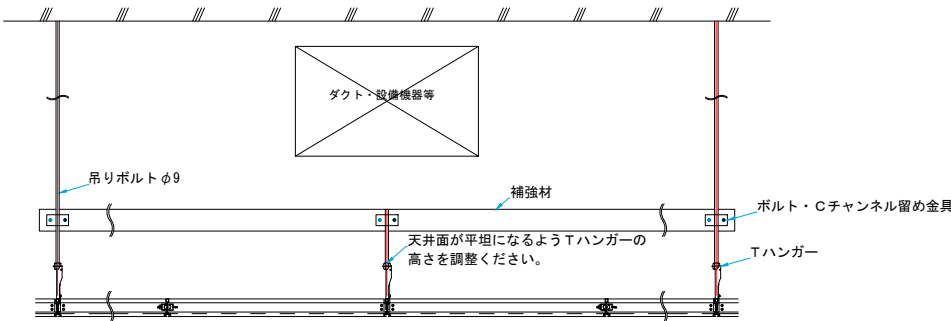
クロスTバー方向断面図 (1:20)



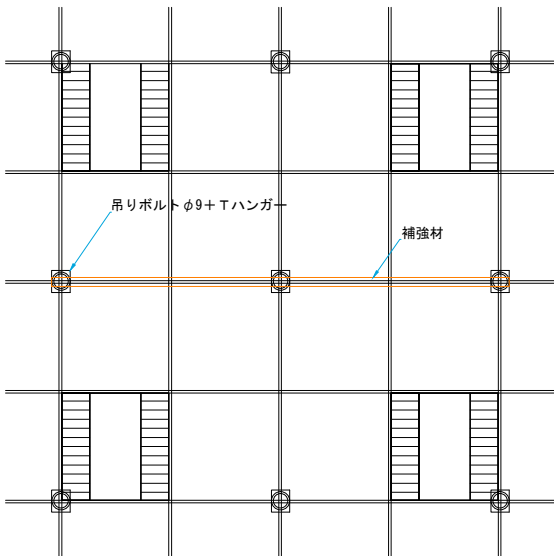
平面図 (1:40)



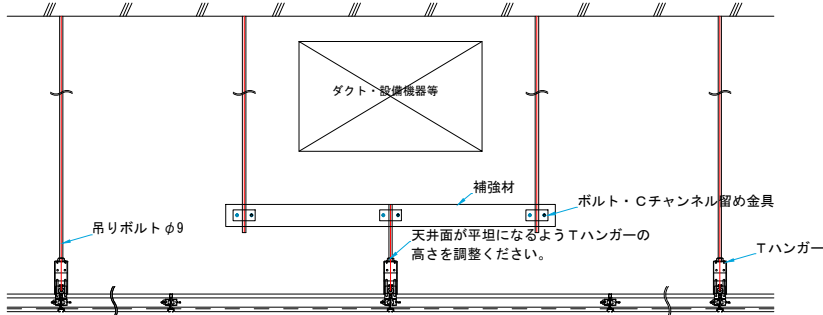
メインTバー方向断面図 (1:20)



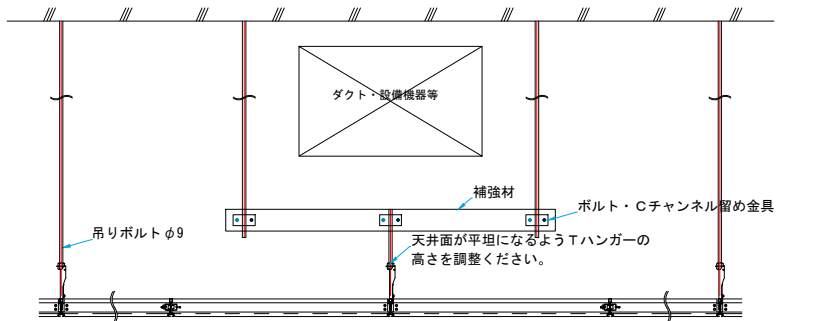
クロスTバー方向断面図 (1:20)



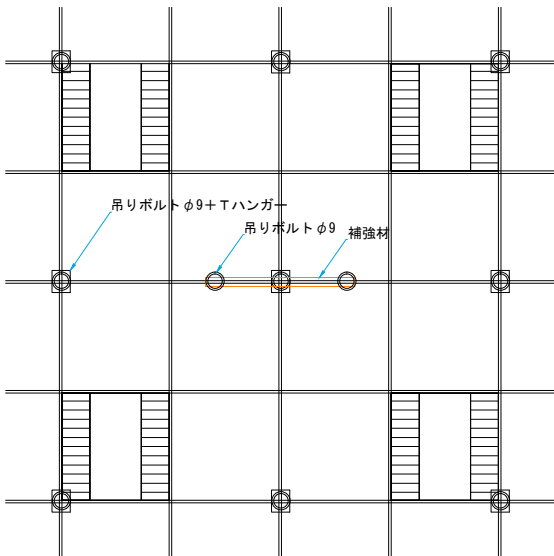
平面図 (1:40)



メインTバー方向断面図 (1:20)



クロスTバー方向断面図 (1:20)



平面図 (1:40)

DAIKEN

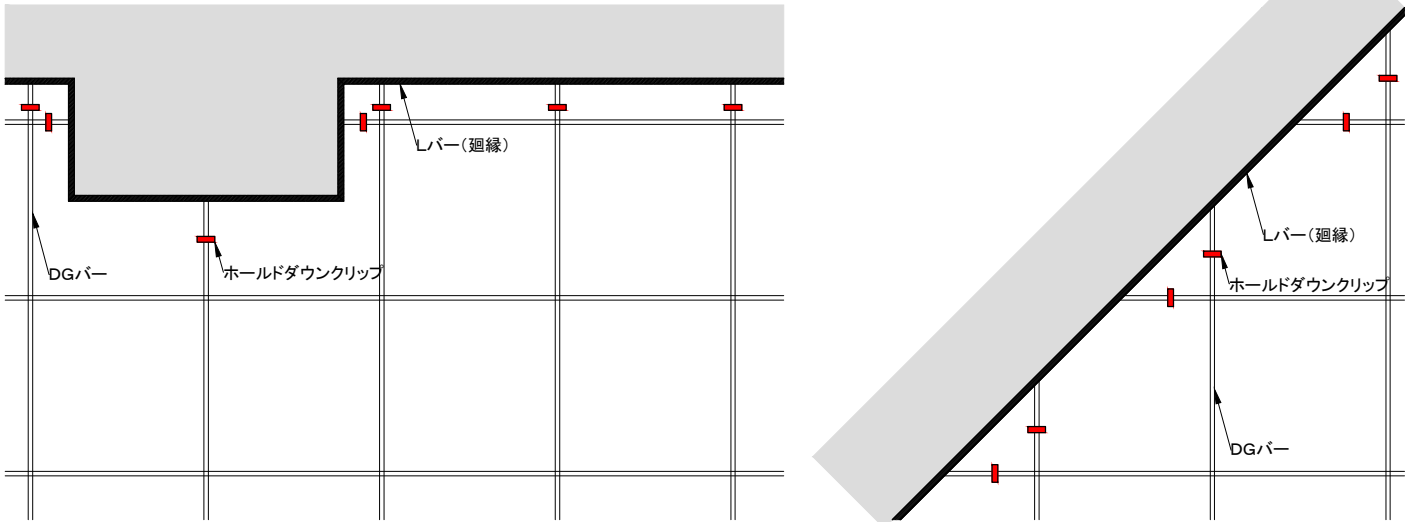
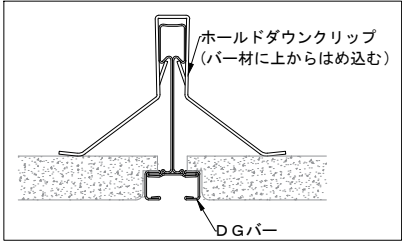
改定日	改定内容

承認	確認	作図	作成日
		吉光	2024. 01. 12
		縮尺 (A 3出力)	

システム天井 グリッドタイプ <DKG-2000EVO>	図面番号
図面名	各部詳細図_2

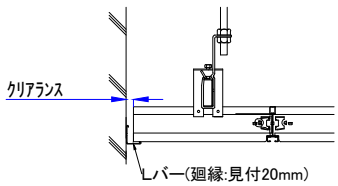
壁際、ブラインドボックス取合い部詳細図

- ・レバー内でクリアランスを設ける場合、壁際直線部は
ホールドダウンクリップの使用を推奨する。
- ・斜め壁で天井板が三角形となる箇所や壁際コーナー部（出隅、入隅部）については
各天井板に対しホールドダウンクリップを2箇所取り付け。

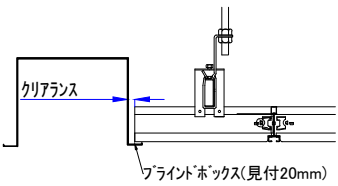


ホールドダウンクリップ配置 (1:25)

ホールドダウンクリップ配置 (斜め壁部_1:25)



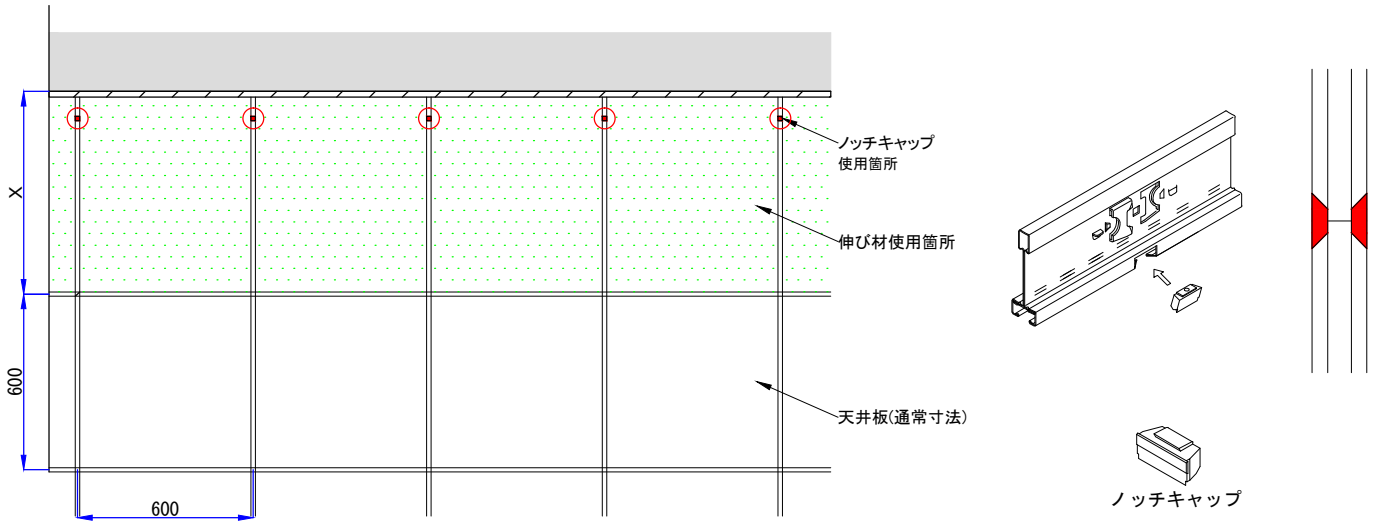
壁際納まり断面図 (1:10)



ブラインドボックス取合い部断面図 (1:10)

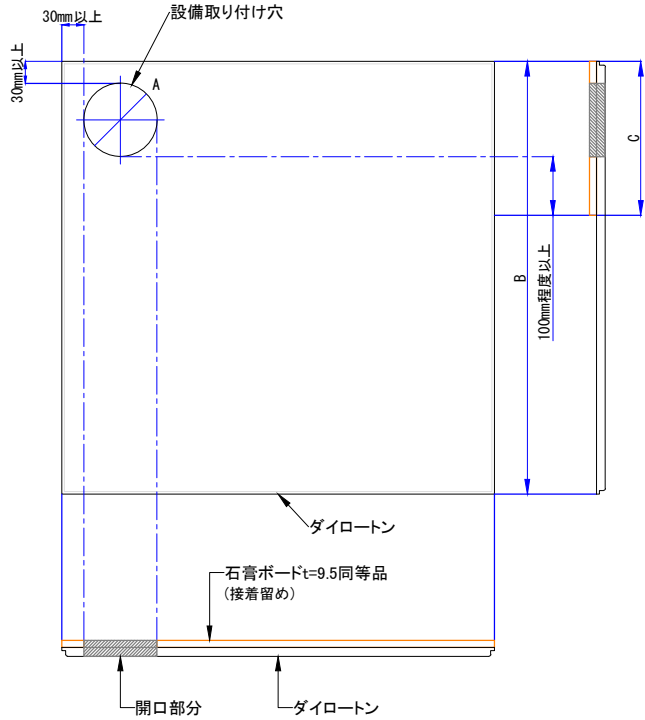
伸び材使用部詳細図

- ・幅100mm未満の小片の天井板の使用を避けるため、
特注寸法の天井板を使用する場合がある。
- ・伸び材を使用する場合、ノッチキャップを使用し
DGバー切り欠き部をカバーする。



天井板開口補強部詳細図

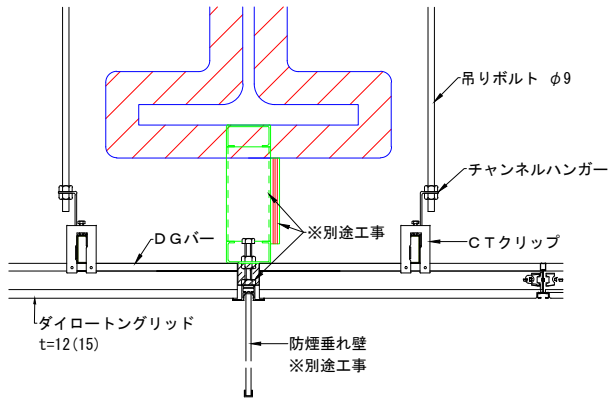
- ・ロックウール工業会「システム天井材の開口及び開口補強基準 (2017. 04改訂)」に基づく
- ・天井板に穴加工し設備を取り付ける場合、開口補強を必ず行うこと。
設備取り付け穴は天井材1枚につき1箇所。
設備機器はその合計重量が1kg以内とする。



A : 開口穴径
B : 天井板幅
C : 補強板幅

C (補強板幅) の寸法目安
B (天井板幅) < 210 ⇒ CはBと同じにする
B (天井板幅) > 210 ⇒ C=100mm程度以上 + A + 100mm程度以上とする
天井板の開口位置 : 天井板の端から30mm以上の位置とする

防煙垂壁取合い部詳細図



DAIKEN

改定日	改定内容

承認	確認	作図	作成日
		吉光	2024. 01. 12
			縮尺 (A 3 出力)

図面番号	図面名
	システム天井 グリッドタイプ <DKG-2000EVO>
	各部詳細図_3